

目指す姿：外部環境変化に対応し、未経験でも/養殖未実施地域でも持続可能な養殖及び水産業を実現する

「作業提案」に着目し、漁師の「判断」を極力なくす養殖支援システム

海での養殖作業の最適解
= 漁師の勘 を手元に



生育状況の把握、最適作業提案

- 在庫データ、生育状況などが一元管理
- どこにどのサイズの牡蠣があるか把握可能
- 作業すべきカゴを色分けで表示
- AI、機械学習などを取り入れ漁師の勘をデータ化（今後）

センシング・データ化

- 天気・光量
- 気温
- 濁度、クロロフィル
- 波の揺れ



データ蓄積・分析

徳島大学と連携、蓄積されたデータを分析、海洋環境と牡蠣の生育の相関を調べ、最適な作業解を抽出



株式会社リブル：課題とソリューションのイメージ

リブルが提供するスマート養殖システムは、環境情報や作業記録などをデジタル記録し、データ化することで解析可能にする。取得データと牡蠣の育成情報との相関性を分析し、最適な作業の内容やタイミングを提案 = 作業のデジタル化だけではなく、熟練の勘に近い判断の提案を実現する。データ量の拡大により、今後は精度の高い生育予測を提供する。

水産（養殖）課題

養殖情報や環境データが管理できず

養殖成果が不安定

漁師の勘と経験に頼った実務

需要に対して供給量が不足

提供ソリューション

養殖作業のデジタル一元管理

環境・育成データの解析

最適養殖作業の内容や時期の提案

生育予測の見える化（今後）



株式会社リブル：事業展開イメージ

